

京都BCP企業交流会 アンケート結果

	1 感想、今後の取組に活かしていきたいこと	2 個別BCPについて(課題、府への要望)	3 連携型BCPについて(課題、府への要望)	4 今後、取り上げて欲しいテーマ	評価				
					全体	パネルディスカッション	分科会Ⅰ	分科会Ⅱ	分科会Ⅲ
1	地元企業なので、自治体のBCPへの推進動向を確認し、自治体、他企業と協調して進めたい。 特に災害直後の人命を第一とした行動計画を自治体と合わせたBCMを進める。	・災害発生直後の72時間の行動計画のマニュアルへの反映。(自治体-災害情報の取り込み) 災害情報、従業員の帰宅への安全経路、広域避難所、ライフラインの復旧情報 ・BCP訓練の仕方・評価 第三者認証(簡易的な認証制度 KES的なもの)	災害時の事業継続計画 ・代行生産-事業体との契約のあり方 ・行政との復旧費用融資の特例条項(財政優遇措置)		3	3	3		
2	BCPの訓練に向けた動きに取り組みたい				1	1	1		
3	2社のBCPの取り込み事例と「BCP訓練のポイント」が非常にためになった。ぜひ取り入れたい。	BCPからBCMの活動はしてきた。なぜ取り組むかは社内でも共感しているが、「何をいつまでに達成すればよいのか」、「誰がどこで何をするのか」は浸透していない。	京都府内地域別で、各会社の協力体制作りの機会を企画してもらいたい。		1	1	2		
4	実効性のある訓練を実施するためには、訓練の目的を明確にする必要があること	有効な訓練の実施 BCPの社内浸透	他社及び行政の取組の紹介・情報共有	京都府行政のBCP取組 インフラ事業者のBCP取組(どれくらいで復旧できるのか)	3	3	3		
5	自社のBCPが世間一般と比べてどの程度の水準か比較対象がなくわからない。交流会に参加して、他社事例(佐川急便、京都生協)に触れ、大いに参考になった。	1 他社事例がないため、自社の本店が作成しているBCPを参考にしかできない。今回のような交流会があると、他社事例を参考にできる。 2 府として、BCPスタンダードの作成・提示を行う予定はあるのか	業界(自社は建設業)や同業他社(電気工事会社)でBCPに対する共同研究や情報交換ができていないので、異業種であっても交流会の企画はとも参考になる。	1 BCP企業交流会(続編) 2 府防災マップ解説	1	1	2		
6	事例発表された企業は進んでいると感じた。サプライヤーへのBCPのアンケートなど参考になった	策定したBCP対応策が、本当に機能するかの検証(訓練)が必要。	他社や行政との連携まで考慮に入れた対策ができていない。サプライチェーンマネジメントも考慮に入れたBCPの推進や、他社や行政との連携によるBCPの推進は必要。	実効性のあるBCP訓練はどのように実施すればよいか	1	2	3		1
7		緊急時の対応であるにも関わらず、どういった事をするのかという点でやや具体性に欠ける	取引先はリストで把握しているがいざという時どうするのかという打合せや意識合わせはしていない。そういった取組が必要。		欠席				
8	本会でのBCPの重要性に対する協議等	費用の捻出			3	3			3
9	初めて参加した。京都の各企業のBCPへの取組、担当者の意識について確認できた。	各種被害のハザードマップとライフラインの復旧の目安についてデータ化し情報提供してほしい	BCP推進には、ライフライン、特に電気の供給は不可欠。各電力会社のBCPについて情報提供してもらいたい。	BCM、特に役員等の不在時における意思決定要領	3	3	3	3	3

10	BCPに対する企業の取組に対する評価のトレンドを学び、BCP取組のモチベーション向上に活かしたい。	当初のアンケートにも記載しましたが薬機法による製造場所の認定を受けている製造事業所が被災した場合、製造場所の代替生産地を、認定を受けていない製造場所で代替するような緩和処置はあるか。阪神大震災の場合など事例はないか。	1 府が中心になって企業間が連携する音頭を取ってほしい 2 企業間のBCに対する意識の差を埋めてほしい		2	2	3		
11	第1部は、今後弊社自身がBCPを進めるに当たってや、他社のBCPの策定支援、訓練実施支援に当たっても参考になった。第2部は、相互の話し合いや、参加者が主体的に行動する内容でなく、企業の話聞くだけで期待外れだった。企業の営業色が強く、京都府のイベントとしてはふさわしくないと感じた。	府のBCPがあらゆる災害や有事に対して不十分と感じており、もっと弊社も含めて専門機関との対話の場などがあれば府の対策も広がると感じる。特に、弊社の場合、原子力災害に付随する緊急被爆医療等に知見があるため、昨年度提示された規制委員会の原子力災害対策指針に基づく、枠組みの変更などで示された原子力災害協力機関の登録などに、医療機関のみならず一般企業なども含まれているため、様々な協力のあり方を登録しあい、充実した体制づくりが重要ではないか。	府が主体的に交流の呼びかけを行い、上記の原子力災害協力機関のように、BCPにおいてもそれぞれの得意分野での協力機関の登録制度などを構築し、有機的な京都府BCP協力体制の構築が望まれる。京都は災害が少ない印象が府民を含め根付いており、それに対し、府や市町村が危機意識を具体的な行動によって示すことが必要。ハイブリッド戦争時代の国民保護も含め、一部の業界内では危機感が挙がってきており、行政の意識のあり方が問われている。	具体的な交流の場、講師が話ばかりしているものでなく、参加した人同士が京都の社会経済のために何をすべきか、テクニック論でなく、まさに実際の取組への動きについて議論する。	3	3	4		
12	他社の担当者と話ができてよかった。社内で抱える悩みを共有できる人がいないので、BCPに詳しい人と話ができてよい刺激になった。	従業員1人1人にまでBCPの必要性を感じてもらえないのが難しい。教育はしているが、いつ起こるかわからないもののために通常業務を増やすことは嫌がられる。リアルな啓発ツールがあれば教えてほしい。	BCPに取り組んでいない他社に対して、必要性を訴える事が難しい。企業合同の訓練も、自社で行うのは難しいので、まずは行政主催のものに参加できれば導入しやすいかも。	訓練の種類や具体例をより多く教えてほしい。	1	1	1		1
13	サプライチェーンや物流の重要性が分かったので、今後活かしていきたい。	具体的なBCPを作成するにあたり、何から手をつけてよいかわからない。また、生産部門に作成してもらうにあたって、管理部門としてどのようなことができるかわからない。生産部門の生産に関わる詳細な知識を理解しておかないと、音頭を取るの難しい。		BCP訓練のスタートから終了までの具体的・詳細な中身が知りたい。	3	3	3		
14	○「部会の設置」 京都は観光、ベンチャー・老舗企業、学校など特徴のある事業所が多い。業態の似た企業ごとに、部会を持ち同じ課題、問題点を検討する。 ○「各企業の計画書紹介」 部会で支障の無い範囲で、計画書紹介、作成経緯、方法、苦労話等する中で問題点方向性を求める。	○「課題」 ・製造業は、製造部門が中心である。BCPの災害対応として避難～帰宅困難者対策は出来ている。一方、広義のBCPとして例えば製品メーカーとして、顧客に供給率を問われた場合顧客に優先順位を付けなければならぬ。これも、BCPとしてどう取扱うかが課題。 ・多々の国内工場、営業所、海外拠点を有し企業形態も管理部門が違う。BCPをコントロールは部門中心で、本社総務で統括は困難である。仕組みづくり出来ている企業があれば紹介したい。	・製造業で「サプライチェーンマネジメント」は経営戦略上重要である。企業と企業間で調整が可能か不透明である。製造業での事例があれば御紹介下さい。 ・企業と行政間の連携 市町村とは、地域防災計画や消防計画で繋がる。府は国とのパイプ役として企業の実態、課題の中継ぎをしてほしい。	・府条例「災害からの安全な京都づくり条例」の事業継続計画の主旨と国及び企業との関係。 ・事例発表2題は優等生すぎて、あまり参考にならない。各企業が抱えている問題をまとめて部会で検討したい。	3	3	3		

15	<p>・第1部の基調講演は、資料もなく早口で専門用語の羅列だったので、素人の私にはついていけなかった。ただ、シナリオベースとリソースベースの話は、BCPの見直しを検討する必要があると感じた。この資料があればもらいたい。</p> <p>・第2部の分科会も、早口でついていけなかった。早口であったのに、時間が不足していたようだったので、時間配分を検討すべき。</p> <p>・事前アンケートで質問した、具体的な訓練の内容が入手できると期待して行ったが、期待通りの答えはなく残念だった。</p>	<p>・BCP訓練をどのようにして進めるかが課題になっている。通常業務を止めるわけにはいかず、また、業務多忙で参加できない人や部署がいる中、効率よく実のある訓練をどのようにするかがポイントになってくると思う。</p> <p>・一度、他社(同業がベストだが他業種でも可)の訓練を見学したいので、場を提供してもらいたい。</p>	取引業者のBCPを把握する必要がある。		4	4	4		
16	<p>運用上のヒントをいただけたので、自社の取組に活かせるか検討していきたい。</p>	<p>課題</p> <p>・熊本地震の教訓を反映したBCM体制の構築</p> <p>府への要望</p> <p>・情報伝達演習などの実施</p>	<p>住民の住む地域とそうでない地域(工業団地など)への防災や災害時の復旧計画は異なるはず。企業が早く立ち直らないと地域の復旧は遅れ、結果住民の雇用機会が失われる危険がある。</p> <p>その中、行政として早期復旧させる企業を選出する判断が必要で、京都府はそれを今どのレベルで実行が可能か?こうしたことは、企業・民間・行政・組合での各BCPのモデルで連携するための議論が必要。</p>	<p>京都府、京都市としてのBIA(府・市・企業が何日止まると社会への影響、地域への影響が考えられるか。それを把握するための活動などについて)</p> <p>他の地域におけるBCPの取組紹介。(近畿他府県や四国、中部、東海など)</p>	2	3	3		3
17								3	
18									4
19	<p>各企業の活動事例を参考に「BCPマニュアル」づくりへ活かしていきたい。</p>				2	3	1		
20	<p>第2部では、各企業の取組み紹介で終わったが、今回はもう一步踏み込んで、BCPに関するテーマを設定して議論すればよりいいものになると思う。</p>		BCPの検証等のため訓練を実施したい。		2	2		2	2
21	<p>ある意味、特殊な職種のため、直接当社の取組に活かすことはないか、他企業の取組を聞くことができ、参考になった。</p>		企業と行政の連携を確認するため、大規模災害を想定した訓練が実施できればいい。		2	2		2	2
22	<p>参加企業は、京都を代表するグローバルな大企業でBCP/BCMへの意識も非常に高く、取組も進んでいる。DJと当社は格付取得企業のサービスで提携しているので、積極的に取り組んでほしい。</p>	<p>課題</p> <p>中小企業においては、人手、時間、ノウハウが不足しており、もしの場合は廃業に追い込まれる可能性も高い。</p> <p>当社では、中小企業向けに複数者で行うプログラムなども用意しており、積極的に取り組んでいきたい。</p>	<p>大手企業においても自主のCSRやBCPについては積極的に取り組んでいるものの、国内サプライチェーンはもとより、海外のサプライチェーンについてはまだ注意が行き届いていない企業も多い。</p> <p>東日本大震災やタイの洪水での例もあり、それぞれの企業に合った個別のコンサルが必要。</p>		2	2		1	1

23	分科会におけるグループワークの運営の仕方がとても参考になった。	複数拠点をかかえる企業における、実効性のある訓練、シミュレーションの仕方について、どのようなツールを使えばよいのか悩んでいる。	大規模災害発生時の、保険金支払査定にかかるインフラ(鑑定人用のホテル、タクシーの手配等)の手配につき、連携できる先を常に探している。	訓練の運営方法	1	2	1			1
24	BCMをシナリオベースで作成すると、「想定外」の事象に対応ができなくなる可能性があるため、リソースベースでBCMを構築することで、原因を問わず被害状況に応じた対応が可能になるという話があったが、当行にも当てはまる話であるので参考にしたい。	机上で考えた内容を、「訓練」することにより課題を見つけ出し改善してはいるものの、「演習」を行うまでには至っていない。			2	2		2		
25	実効性の高いBCP訓練において、想定外の事態にも対応できるような人材を育成することが重要であることを学び、大変参考になった。今後、「経験値」を習得・蓄積できるような訓練を行い、活かしていきたい。	・有事の際のインフラ復旧や、燃料・食料品等の確保について 京都府とインフラ企業間において、有事の際、インフラ(電気・ガス・水道)の早期復旧や、燃料・食料品等の優先供給に対する協定を締結されていると思うが、同じような協定を締結する際に、行政より斡旋が可能か。また、京都府の協定に地元企業も参加できないか。	今後も京都BCP(地元金融機関)の意見交換会の中で情報交換を図りたい。		2			2		
26	多くの企業が、事業継続計画(BCP)を策定され、日々起こるいろいろな事象に合わせて、見直しや工夫をされているのをお聞きし、当金庫も具体的に、さらに総合的な観点から計画を見直し、災害時に敏速に行動がとれるように工夫・徹底する必要があると、参加して改めて感じた。	地元金融機関4行庫で、連絡会議を開催し、「いざという時、金融の空白地を作らないこと」を目標に、金融機関として許容される期間内に操業度を回復するため、図上訓練などを通して情報交換がスムーズに流れるよう対応している。また、京都府の尽力により、緊急車両の共同運行や、共同店舗設置の課題の検討など具体的な事例も確実に増えている。今後、さらに検討を進めたい。	地域の経済活動を守るためにサプライチェーンマネジメントは欠かすことのできないテーマであるので、金融機関として後方から支援できるように、今後、検討したい。	また違う観点からのテーマを希望する。	1	1				1
27	各社の取組は参考になったが、業界ごとに特化した「BCP交流会」があると、情報交換もより活発になされ、参考にできる事項も多く、さらに有意義である。				2	3		2		
				選択肢:1(大変満足)	7	5	2	2	2	4
				選択肢:2(満足)	9	7	1	5	1	2
				選択肢:3(普通)	7	10	2	7	2	2
				選択肢:4(良くなかった)	1	1	0	2	1	0